

大阪市立
西淀川
特別支援学校

タイトル(テーマ)
「「ことば」をつなげよう！」

西淀川 No 12 号

平成
27 年 3 月 31 日

対象の児童生徒
中学 部 C1グループ

困り感
知的障がいを併せ有する子ども達の「ことば」の概念の発達をどう支えていくか。



取り組みの内容・授業の様子等

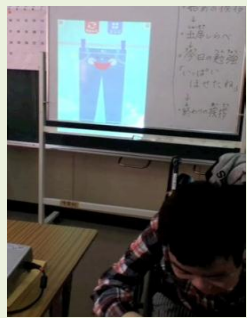


【使用アプリ、機器等】:①「ロイロノート」、②「タッチ！あそべビー」、プロジェクター

【内容・授業の様子】:① 写真、文字・文章、映像のカードを大型画面に提示できる。カードの置き換え、並び替え、拡大縮小がスムーズにできる。話し合い時、視覚的支援教材として活用。「交流校へお礼の手紙を送ろう」誰がどの字を担当して書くのかを相談した。②「お礼よりたっち」「がっきでたっち」「きれいにたっち」など。タッチで楽器を鳴らしたり、掃除をしたりする場面が映し出される。「生活」の授業で洗濯の学習に取り組んでいる時に同時に使用した。洗濯する「物の名前」や「干す」など動きの言葉の学習に取り組む。



「ぼちっ」



「ズボンや！」



「これ！」



「正解～！」



成果と今後の課題
【成果】①担当者の顔写真と担当する字を画面上で移動させ、それぞれの意見を提示することができるので意見がまとめやすい。相談の経過が視覚的に分かるので、意見が積極的に出てきた。②実体験の後、振り返り学習や言葉の反復練習として活用でき、「ことば」と「もの」や「行為」を結び付けていくことができた。
【課題】さらに便利な「ロイロノートスクール」はクラウドを使用するので、学校現場では使用できない。「タッチあそべビー」の無料版は9種類のみで数を増やす場合は課金が必要となる。